

社会貢献活動 教育【DMA,EC7】

花王のアプローチ

豊かな文化を持つ社会を育み、未来につなげていくためには、優れた学術・教育が不可欠であると考え、社会貢献活動の重点分野の一つに「教育」を挙げ、子どもたちの健やかな成長を応援する活動に取り組んでいます。

社会的課題と花王のアプローチ

温暖化や感染症対策など地球規模の社会的課題の解決は、先進的な知識の共有とイノベーションの創出が不可欠です。

花王は、自社の持つリソースや強みを活かし、子どもたちの

正しい生活習慣の定着、科学技術を担う人財の育成、子どもたちに影響を与えるリーダーの育成などの教育支援を行なっています。

中長期目標

1. 子どもたちの正しい生活習慣の定着
2. 工場見学を通じた学校教育支援
3. 科学技術を担う人財の育成
4. 子どもたちに影響を与えるリーダーの育成

2016年の実績

1. 子どもたちの正しい生活習慣の定着：手洗い活動

- ・社員のべ約1,090人が参加
 - ・46都道府県の205校、約15,450人の児童・生徒を対象に啓発(2009年の活動開始から累計約92,000人が受講)
 - ・教材提供 2,043件
 - ・教育関係者への研修会 10回
- P13「毎日の暮らしの中で、子どもたちを守る清潔習慣づくり」

2. 工場見学を通じた学校教育支援

- ・小田原工場で見学受け入れを開始
- ・上海工場で見学コースを新設
- ・日本での小学生の見学者 18,280人

3. 科学技術を担う人財の育成：理科教育支援

- ・JSEC2015受賞校を招いてスタディツアーを開催(3月)
- ・JSEC2016に特別協賛し、花王賞と花王特別奨励賞を贈呈(12月)

4. 子どもたちに影響を与えるリーダーの育成：花王・教員フェロースhip

- ・5プロジェクトに10人の教員が参加
- ・11月に活動報告会を実施

→詳細は「社会貢献活動報告書」

http://www.kao.com/jp/corp_csr/social_activities.html

具体的な取り組み

日本科学未来館との協働による新たな取り組みを開始

日本

花王は、地球・自然と調和し、心豊かな生活を続けていくための技術開発に携わる未来の研究者・技術者を育成したいとの思いから、日本科学未来館と協働し、新しい取り組みを開始しました。その第一弾として、同館のイベント「サイエンティスト・クエスト」で、2016年8月23日、花王の研究員が「洗って実現！きれいな素肌」をテーマに講師を務めました。

今後は、日々の暮らしを支える製品を提供する花王ならではの研究知見と、日本科学未来館が持つさまざまなコミュニケーション手法や幅広いネットワークをさらに連携させ、未来の研究者・技術者の素養を育むプログラムを共同で開発・実施していく予定です。また将来的には、業界や国を超えた活動に広げ、より広い視点を持った豊かな人間性を育てたいと考えています。

高校生の理科教育支援としてJSECに協賛

日本

JSEC(主催：朝日新聞社、テレビ朝日)は、世界に通用する科学者の育成をめざし、全国の高校生・高等専門学校生を対象として開催される科学技術に関する自由研究コンテストです。花王は、高校生の理科教育支援の一環としてJSECに協賛し、毎年優れた作品に花王賞および花王特別奨励賞を贈呈しています。賞の選定にあたっては、花王の研究員が論文を読み、実際に高校生のプレゼンテーションを聞いて審査を行なっています。

また、受賞校を花王に招き、施設見学と、研究員との交流を図るスタディツアーを開催して高校生のキャリア教育支援にもつなげています。

長崎西高等学校)

「地下で虫を捕まえるウサギゴケ」米田美桜さん、舛村康成さん(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

スタディツアーを開催

JSEC2015で花王賞を受賞した市川学園市川高等学校、花王特別奨励賞を受賞した千葉県立千葉東高等学校から受賞者を招いてスタディツアーを開催し、参加者は活発な質疑応答などを通じ、研究員との交流を深めました。

今後の取り組み

今後は、JSEC2016受賞校を招いたスタディツアーの開催、およびJSEC2017への特別協賛を予定しています。

2016年の取り組み

- ・JSEC2015受賞校を招いてスタディツアー開催(3月)
- ・JSEC2016に特別協賛し、花王賞および花王特別奨励賞贈呈(12月)

2016年の実績

JSEC2016において、花王賞および花王特別奨励賞を贈呈

- ・花王賞：「ファンプロペラの効率アップー風を変えるシンプルな表面加工ー」田淵宏太郎さん(南山学園南山高等学校男子部)
- ・花王特別奨励賞：「オオアメンボAquarius elongatusの水面波への応答について」野辺愛耶さん、近藤紀香さん、福澤咲知子さん(長崎県立



JSEC2015 スタディツアー 研究発表での質疑応答

女子小中学生のからだの悩みをサポート

グローバル

花王は、1978年の生理用品の発売以来、30年以上にわたって、初経を迎える女の子たちとその家族、小学校に向けた初経教育の支援活動を行っており、現在は主に、グローバルでの初経教育セットの配布活動と、日本での情報サイトの運営を行っています。

2003年から運営している情報サイト「からだのノート おとなになるということ」は、思春期の体や月経についてわかりやすく解説。医師や専門家による豊富な情報も発信しています。

さらに、2016年6月からは、ニフティ株式会社、株式会社ワークル、花王ロリエは、ニフティが提供する子ども向けサービス「キッズ@nifty」の「キッズなんでも相談」コーナーで連携し、思春期のからだに関する悩みを抱える女子小中学生に向けたコンテンツの提供も開始しました。

今後も、花王は情報発信を継続して行ない、子どもたちの健やかな成長をサポートしていきます。